

# 環境に配慮した レジリエンスへの取組み —持続可能な都市の暮らしを目指して—



旭化成ホームズ株式会社

# 旭化成グループ 事業紹介

● 旭化成グループ ● マテリアル ● 住宅 ● ヘルスケア



1922  
旭硝子(株)設立  
(当社の創業)



1923  
日本初のアンモニア  
化学合成に成功



1931  
キュブラ繊維  
「ベンベルグ」を製造開始

1957  
ポリスチレンを  
製造開始、  
合成樹脂事業へ進出



1959  
アクリル繊維「カシミロン」を  
製造開始、合成繊維事業へ進出



1960  
「サララップ」を販売開始、  
樹脂製品事業へ進出



1967  
軽量気泡コンクリート  
「ヘーベル」を製造開始、  
建材事業へ進出



1968  
山陽石油化学(株)設立、  
石油化学事業へ進出



1972  
戸建住宅「ヘーベルハウス」を  
販売開始、住宅事業へ進出



1974  
旭メディカル(株)設立、  
人工腎臓を製造開始、  
医療機器事業へ進出

1976  
経口制がん剤  
「サンフアール」の  
製造承認を取得、  
医薬品事業へ進出



1983  
旭マイクロシステム(株)設立、  
LSI事業へ進出



2012  
ゾール社(米国)を買収、  
救命救急医療事業へ進出

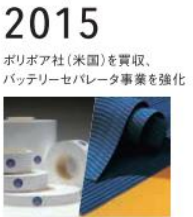


2013  
エコタイヤ向け  
合成ゴム(S-SBR)  
のシンガポール工場が稼働

2016  
事業持株会社制へ移行  
旭化成ヨーロッパ設立



2018  
セージ社(米国)を買収、  
自動車内装材事業を強化



2015  
ポリオア社(米国)を買収、  
バッテリーセパレータ事業を強化

総合化学メーカーとしての成長

多角化の推進

グローバル化の進展

新たな挑戦

1931 延岡アンモニア硝子(株)設立(当社の設立)  
1933 延岡アンモニア硝子(株)は、日本ベンベルグ硝子(株)および旭硝子(株)を合併し、社名を旭ベンベルグ硝子(株)へ改称  
1943 旭ベンベルグ硝子(株)は、日本窒素火薬(株)を合併し、社名を日窒化学工業(株)へ改称  
1946 社名を旭化成工業(株)へ改称

1949 東京・大阪・名古屋の各証券取引所の市場第一部に株式を上場  
1952 ダウ・ケミカル社(米国)と合併で旭ダウ(株)設立  
1960 ニューヨーク事務所開設  
1962 アクリロニトリルを製造開始  
1966 スチレンブタジエンゴム(SBR)を製造開始

1971 プレミアムストレッチ繊維「ロイカ」を製造開始  
1972 旭化成ホームズ(株)設立  
1976 旭化成建材(株)設立  
1976 (株)旭化成テキスタイル設立、テキスタイル事業を強化  
1980 ホール素子を製造開始  
1982 旭ダウ(株)を合併、合成樹脂事業を強化  
1988 北京事務所開設

1990 バッテリーセパレータ「ハイオア」をリチウムイオン二次電池用途に販売開始  
1992 東洋醸造(株)と合併、医薬・医療事業を強化、酒類事業へ進出  
1999 食品事業を日本たばこ産業(株)に譲渡  
2001 社名を旭化成(株)へ改称  
2002 焼酎・低アルコール飲料事業をアサヒビール(株)およびニッカウヰスキー(株)へ譲渡  
2003 旭化成ファーマ(株)設立  
2003 清酒・合成酒関連事業をオエノンホールディングス(株)  
2003 分社・持株会社制へ移行  
2016 三菱ケミカル旭化成エチレン(株)において、エチレンセンターの共同運営を開始

# 旭化成グループ 事業紹介

Creating for Tomorrow

昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

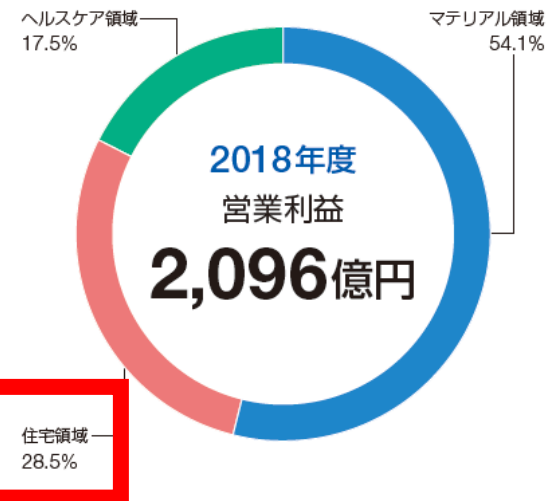
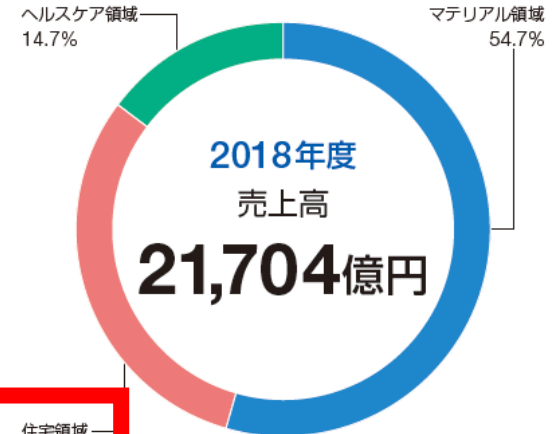
それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、より豊かな“くらし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、次の時代へ大胆に答えていくために――。

私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。



専門領域を連携し、暮らしの多様なニーズに応えます。



# 旭化成グループ 事業紹介

## Lithium-ion Battery

### 利用広がる リチウムイオン電池



(旭化成提供)

- ・繰り返し充電して使える高性能な電池
- ・携帯型電子機器の電源として普及
- ・電気自動車や家庭用の蓄電池システムなどにも利用が広がる

国際宇宙ステーション



ビデオ  
カメラ



デジタル  
カメラ



電動  
アシスト  
自転車



家庭用  
蓄電池システム

太陽電池



電気  
自動車



スマート  
フォン



ノート  
パソコン



出展：2019/11/22 産経新聞



# 旭化成ホームズグループ 事業紹介



## ▶ 新築請負事業

### 旭化成ホームズ(株)

「ロングライフ住宅」の実現により、  
安心して快適な暮らしを提供します。

- 戸建住宅「ヘーベルハウス」
- 集合住宅「ヘーベルメゾン」



専門領域を連携し、  
暮らしの多様な  
ニーズに応えます。



## ▶ リフォーム事業

### 旭化成リフォーム(株)

ロングライフ住宅の価値を  
高め続けるサービスを提供します。

- 60年メンテナンスプログラムの実行
- ライフスタイルの変化に合わせた暮らしの提案

## ▶ 不動産関連事業

### 旭化成不動産レジデンス(株)

都市の住まいと資産の問題を、  
マーケットインで解決します。

- マンション開発「アトラス」
- ストック流通「ストックヘーベルハウス」
- 宅地開発「ヘーベルタウン」



# ALL for LONGLIFE

3つのLIFE — いのち、暮らし、人生

## いのちを守る

トータルレジリエンス  
TOTAL RESILIENCE

災害に強い構造と災害時の復旧対応、  
診断・保険等のサポート体制

ALL for  
LONGLIFE

## くらしを豊かに

スマート&ウェルネス  
SMART & WELLNESS

健康快適な空間プランニングと環境配慮、  
ライフスタイルに応えるデザイン

## 人生を支える

フューチャーバリュー  
FUTURE VALUE

高耐久な構造と安心の長期保証・点検制度  
資産価値と将来選択肢を支えるサービス

HEBEL HAUS

# 持続可能な都市の暮らし

環境課題への取組みと 防災力強化の両輪で



脱炭素社会の実現



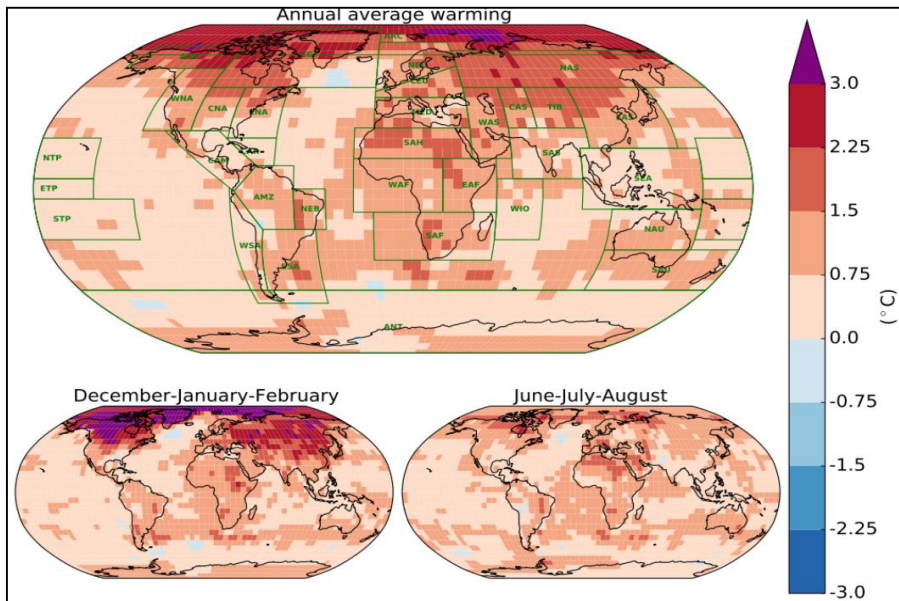
トータルレジリエンス  
自然災害への備え

## LONGLIFE

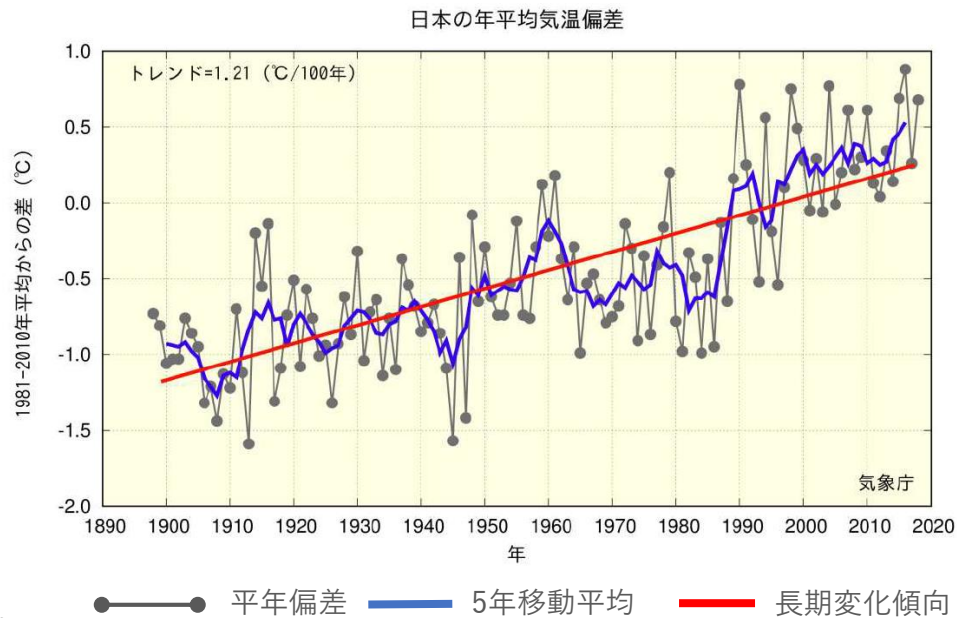
人びとの暮らしに寄り添い、そのニーズに応えることで、永く愛され続けること

# 気候危機による影響

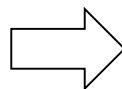
## 平均気温の上昇



出展: IPCC SR1.5.60 第1章 図1.3



**気候変動** climate **change**



**気候危機** climate **crisis**



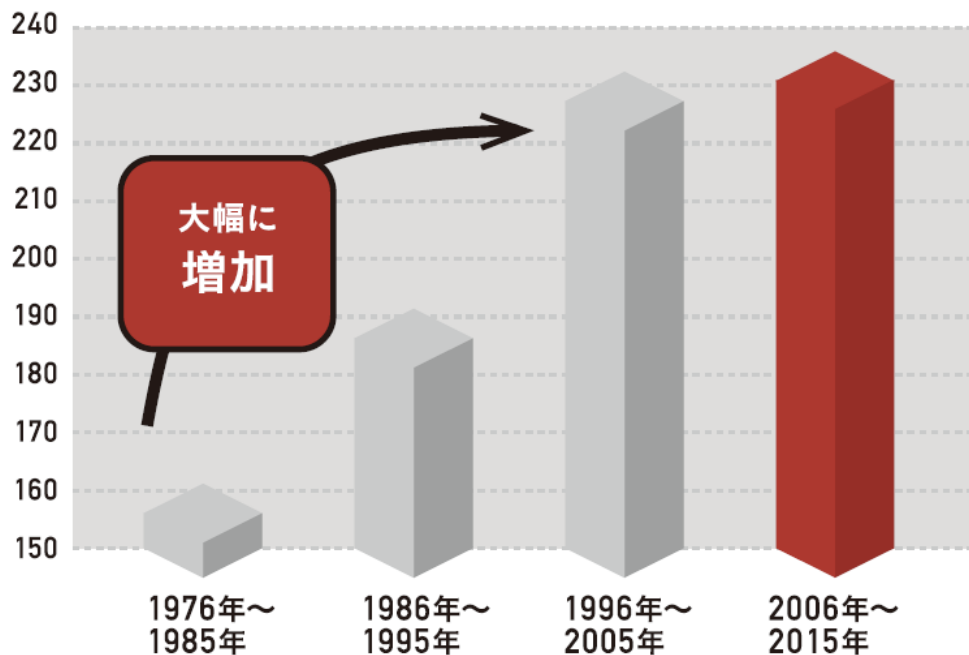
# 気候危機による影響

短時間豪雨や大雨の増加による河川の洪水、土砂災害  
竜巻・突風発生回数増加、台風の強度増

## 年々増加する豪雨

短期(1時間)降水量50mm以上の発生回数

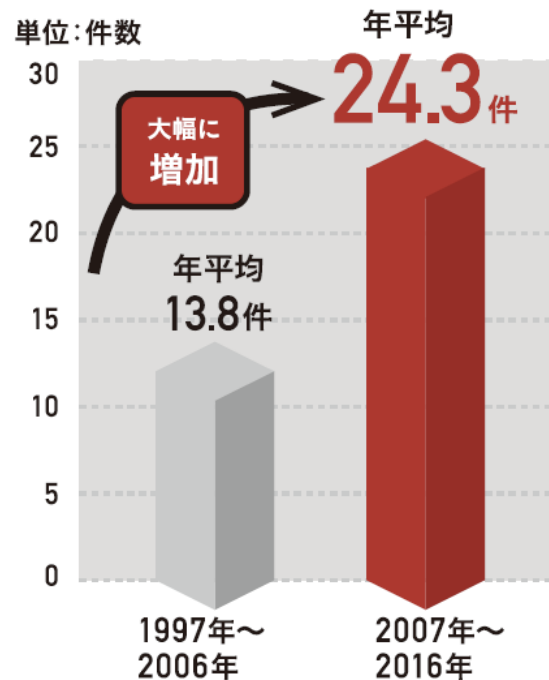
単位:回数



## 多発する竜巻

竜巻の発生確認数

単位:件数



出典:気象庁資料より作成

# 気候危機による影響

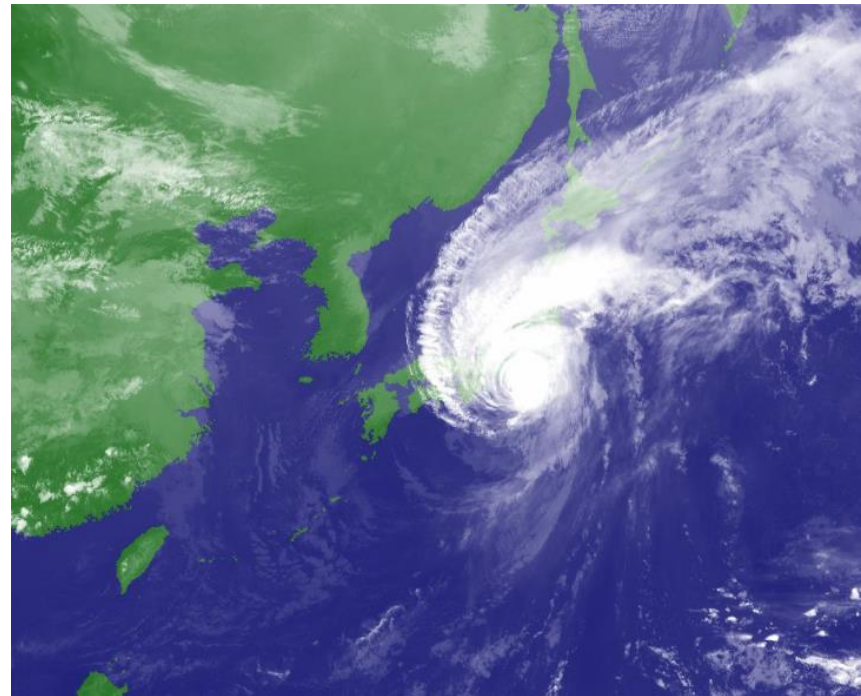
多様化・極大化する災害

2018年



2018年 岡山県真備町 出展：毎日フォトバンク

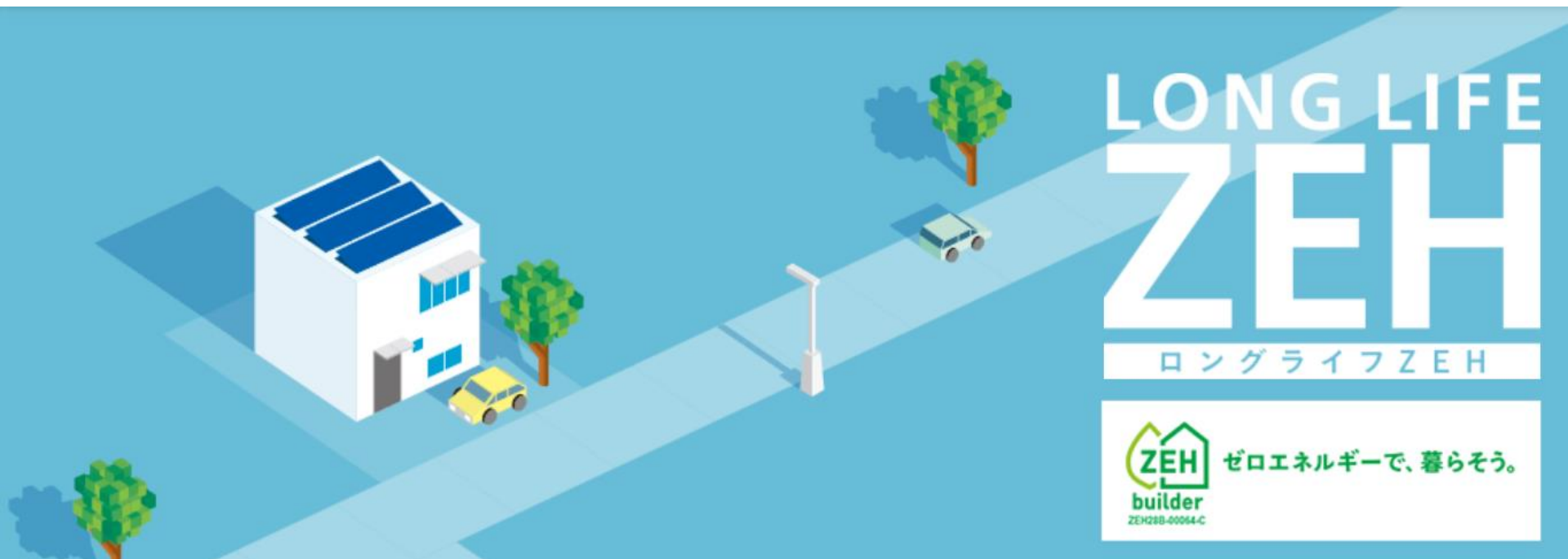
2019年



2019年台風19号 出典：気象庁

# 脱炭素社会の実現に向けて

LONGLIFE ZEH — 高断熱・省エネ・創エネ —



HEBEL HAUS

# 脱炭素社会の実現に向けて

LONGLIFE ZEH — 高断熱・省エネ・創エネ —



HEBEL HAUS



# 脱炭素社会の実現に向けて

**LONGLIFE ZEH** — 高断熱・省エネ・創エネ —

【ALC 軽量気泡コンクリートパネル】



一般的なコンクリートの約10倍の断熱性能  
遮音性能、調湿性能、耐久性、高強度、寸法安定性、耐火性  
複合性能を60年以上に渡って維持する

**HEBEL HAUS**

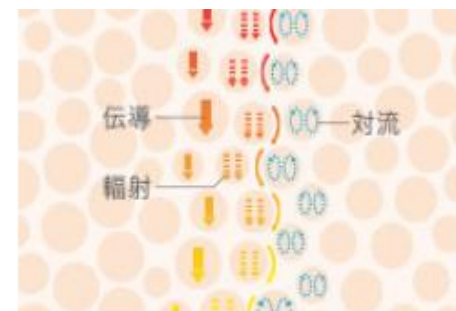
# 脱炭素社会の実現に向けて

LONGLIFE ZEH — 高断熱・省エネ・創エネ —

【フェノールフォーム断熱材】



100ミクロン未満のネオマフォームの気泡



微細な気泡が熱を伝わりにくくする

区分	F	E	D	C	B	A-2	A-1
熱伝導率 入	0.022以下	0.028以下	0.034~ 0.029	0.040~ 0.035	0.045~ 0.041	0.050~ 0.046	0.052~ 0.051
断熱性能	高い ←	→ 低い					

(社)日本建材・住宅設備産業協会ホームページより抜粋

断熱材 最高ランク

# 脱炭素社会の実現に向けて

LONGLIFE ZEH — 高断熱・省エネ・創エネ —  
HEBEL HAUSの特徴



Outdoor Living



都市型≒狭小地

HEBEL HAUS



# 脱炭素社会の実現に向けて

LONGLIFE ZEH — 高断熱・省エネ・創エネ —

リフォームによる太陽光発電



HEBEL HAUS



# 脱炭素社会の実現に向けて

RE 100 | °C



電力流通の促進

実現方法

住宅用太陽光発電の  
余剰電力買取

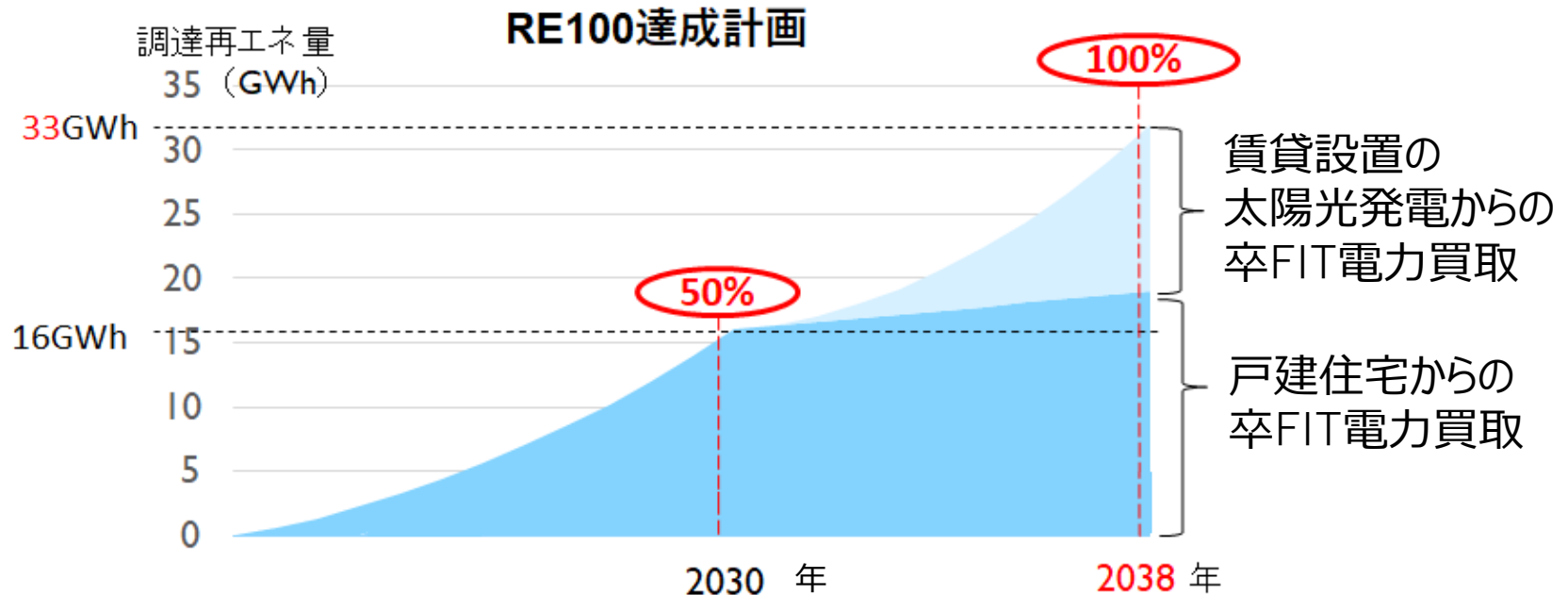
ヘーベルハウス・ヘーベルメゾン  
オーナー太陽光発電総搭載量

約**360MW**

(年間発電量は約360GWh)

※  
事業用総電力使用量 **33GWh**

※2018年度



HEBEL HAUS

# 脱炭素社会の実現に向けて

RE 100

°C



電力流通の促進

太陽光発電買取サービス  
2019年11月START



HEBEL HAUS

# トータルレジリエンスの取組み

## 【HEBEL HAUSのトータルレジリエンス】

Stage.3

生活の復旧

より早い・より確実的な工事や  
避難の目的をサポート



Stage.3 災害時の  
生活の復旧

Stage.2

健康を守る

エムロザーも自然乾燥させるための  
設置補助や換気扇の設置



Stage.2 健康を守る

Stage.1

命を守る

地震と津波もひびきく耐震で  
しなやかな柔軟性



Stage.1 いのちを守る

HEBEL HAUS

# レジリエンスとは

「強くてしなやか」を意味し、  
災害国日本では「防災力」としても用いられる

ナショナル・レジリエンス

## 国土強靱化

想定外の災害が頻発・・・

人命を守り、経済社会への被害を抑え、迅速に回復する

国土、経済社会システムを平時から構築することも目指す

～内閣官房HPより引用～

➡ 環境課題への対応としても取組み必須



ナショナル・レジリエンス

### 国土強靱化 進めよう!

強くて、しなやかなニッポンへ

国土強靱化(ナショナル・レジリエンス)、防災・減災の取組みは、  
国家のリスキマネジメントであり、強くてしなやかな国をつくること。  
また、ニッポンの産業競争力の強化であり、安心・安全な生活づくりであり、  
それを実現するひとの力をつくることです。国民の命と財産を守り抜きます。

人命の保護  
経済社会の維持  
国土強靱化  
災害に強い社会の構築

内閣官房 国土強靱化推進室  
国土強靱化ホームページ [http://www.kokoro.go.jp/keiseki/hokudo\\_kyoujinka/index.html](http://www.kokoro.go.jp/keiseki/hokudo_kyoujinka/index.html)

国土強靱化  
NATIONAL RESILIENCE  
強くて、しなやかなニッポンへ

出典：内閣官房



# レジリエンス訴求を続けています

Asahi KASEI  
HEBEL HAUS

## いのちとくらしに、 トータルレジリエンス。

災害大国、日本。近年頻発に連続を帯るう自然災害は、規模も被害も拡大の一途をたどっています。そんな今、私たちが果たすべき使命とは何か。それは、住まいの総合防災力＝トータルレジリエンスの強化です。不意の災害から、生命と財産を守り抜く確かな構造。電力がストップしても、エネルギーを自給自足できる設備。より早い生活の復旧を叶えるサポートシステム。それら全てを備えた住まいづくりに取り組んでいます。災害に強い家を構築し、かけがえのない家族の日常を守り続ける。それが創業から変わらぬ、ヘーベルハウスの信念です。

HEBEL HAUS  
HEBEL HAUS  
Solar Panel  
Energy Battery  
Foundation  
Floor

ヘーベルウォール  
製震テクノロジー  
STRUCTURE

TOTAL  
RESILIENCE

太陽光発電  
蓄電池  
SOLAR BATTERY

早結新築  
復旧支援  
REPAIR SYSTEM

比類なき壁  
へ\ hebel  
HEBEL HAUS

HEBEL HAUS

旭化成ホームズ  
2019年 新聞広告

# Stage.1 | 命を守る

生命と財産を守り抜く頑強な建物

耐火性

耐震性

耐風水害性

安全・安心で快適な住まいづくりに取り組んでいます。

- ALCコンクリート「ヘーベル」耐火性、遮音性、耐久性
- 住まいとしての快適性・シェルターとしての安心感
- 長期サポート体制、長期資産価値

# Stage.2 | 健康を守る

災害後も、生活を維持するために

在宅避難を可能にする  
インフラの備え + 住民自身の備え



太陽光

蓄電池

など

災害後インフラ停止時  
在宅での生活維持を期待



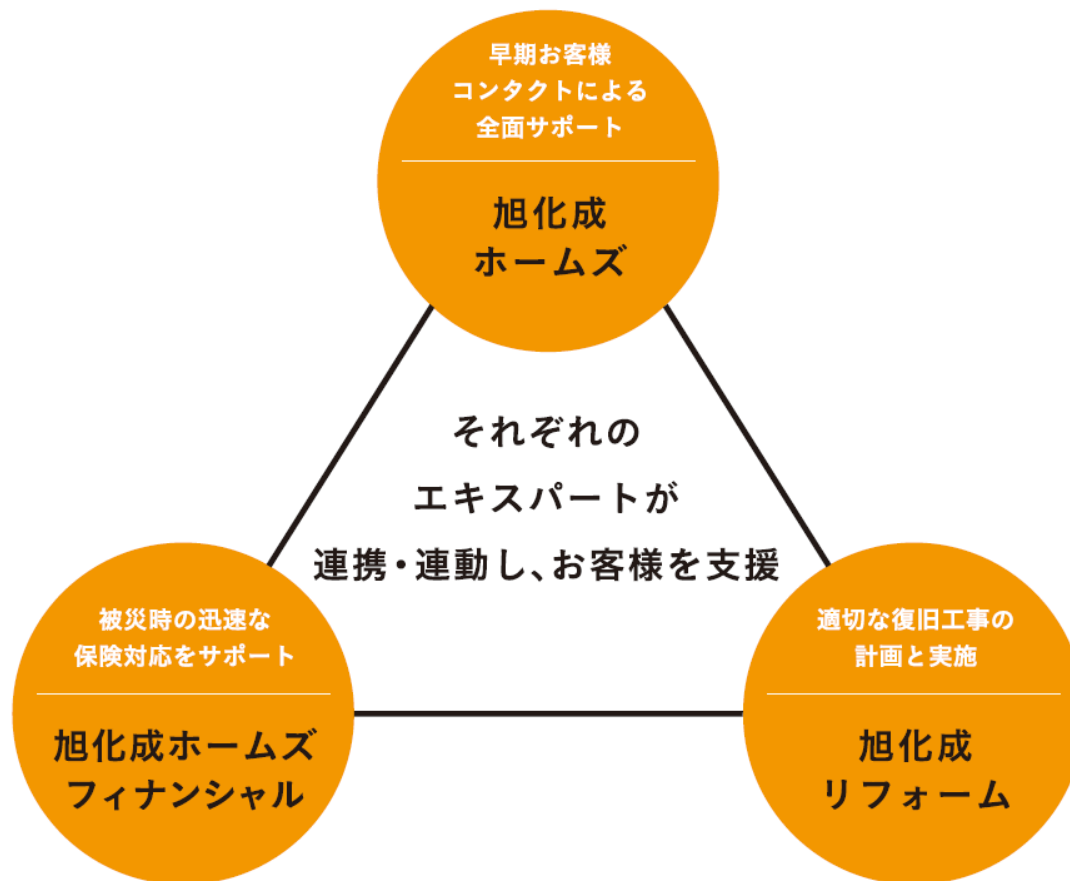
二次災害を防ぐ家具の配置や固定。  
食料・水のローリングストック

HEBEL HAUS

# Stage.3 | 生活の復旧

## より早い生活復旧への対応力

1. 発災
2. 初動
3. 診断
4. 保険
5. 補修





# 邸別のハウスカルテで一元管理

創業時の1棟目のヘーベルハウスから  
設計図・仕様書・建築後の点検やメンテナンス履歴など  
永久保存

緊急  
時の対応

日常のケア

高い資産価値が続く  
売主・買主双方の安心へ



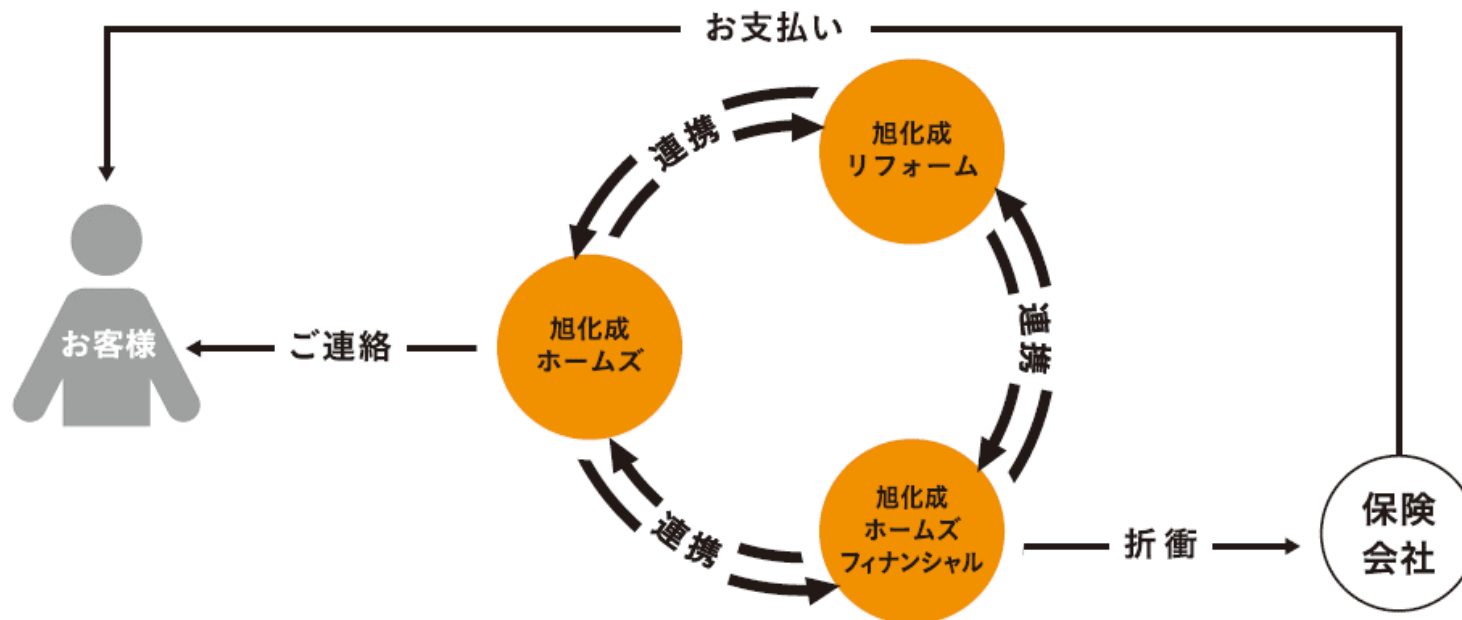
建物状況の把握  
災害時の早期コンタクト



HEBEL HAUS

# 火災保険の募集代理店として

新築時加入率 約9割 ストック全体の約4割  
ワンストップでお客様の手間を軽減



保険代理店として煩雑な手続きを代行。  
構造を熟知したスタッフが保険会社との折衝を行うことも。



**HEBEL HAUS**

**お客様・地域・社会とともに**

# 60年点検無償化

## アフターサービスの拡充 + 顧客接点強化

1998年12月


創業25周年の感謝を込めて  
「ヘーベルハウス50年点検システム」  
のお知らせ

居住性に優れた都市型高性能住宅「ヘーベルハウス」を約16万戸、供給してきました。この間「先進に住み続けられる家づくり」をめざし、ハード面の技術開発やさまざまな課題の克服はもとより、親子同世代の住まい方の提案や共働き家庭に対する生活提案などソフト面の充実にも積極的に取り組んできました。また、アフターサービスの分野においても、ホームサービス課やリフォーム事業所を設け、業界に先立ちお引き渡し後5年時点検の制度を導入したほか、2000年にはお客様のご相談窓口、情報提供機関として「ヘーベリアンアフターセンター」を開業するなど、サービスの向上に努めてまいりました。

今回の「50年点検システム」は、これまで培ってきた豊富な実績から「ヘーベルハウス」は定期的な点検を実施し、その結果に基づいて適切なメンテナンスを行うは、基本性能を半世紀以上持続できると推定されること、および従来からの定期点検を通じて高棟のメウラハウが整備されるとともに高棟体制も確立したことなどから、新たに導入するもので、従来の3か月、1年、2年、5年点検に加え、10年、20年、30年、40年、50年の計9回の点検（ただし、30年点検以降は有料となります）を実施するものです。このことは、住宅もつべき価値を長年にわたり持続させる長期耐用住宅を実現し、21世紀への地球環境保全と日本の真に豊かなストック社会実現に貢献するという観点からも、評価されるものと自覚しております。

このシステムは、平成10年3月より導入いたしますが、平成10年1月以降にお引き渡しの方だけではなく、これまでヘーベルハウスの発展を支えてくださったお客様に感謝の意を込めて、すでにご購入されている方も、今後それぞれの点検時期に該当する時点での点検の対応とさせていただきます。

※「50年点検システム」は、50年間の保証をするものではありません。保証期間については、実際期にお問い合わせください。



AsahiKASEI

2019年11月

News Release

**建物定期点検サービスの60年間無償化を決定  
過去供給物件も2020年4月から対応予定**

旭化成ホームズ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:川畑文俊)は、当社の供給する戸建住宅「ヘーベルハウス」、及び賃貸住宅「ヘーベルメゾン」について、本年11月1日からの新築請負契約を対象に、お引き渡し後の定期点検サービスの無償提供期間を、従来の30年間から60年間に延長いたしますので、お知らせします。

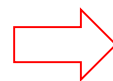
なお、過去に供給した物件や11月1日以前の契約物件についても、2020年4月を目途に体制を整え、35年目以降の点検を迎えるお客様に、当社から点検の案内をお送りし、希望に応じて無償で対応する予定です。

1972年の創業以来、これまでに供給した全ストックは約28万棟となります。それら全ストックを対象に、従来の60年点検システムでは、初回点検から30年目の定期点検まで無償で実施し、それ以降の定期点検については、希望者を対象に有償で実施してまいりました。

しかし、現在、当社の供給したヘーベルハウス・ヘーベルメゾンで、築30年を超えるお客様が約5万棟に達し、いよいよ、ライフスタイルの変化に応じた改裝リフォームや、所有者の世代替わりによる住み替えなど、お客様へのサポートが本格的に必要となってきました。社会の成熟化を背景に、住宅政策もストック重視に舵を切る中、当社は、お客様に対する接点を、より永く確かなものとする必要があると判断いたしました。

当社は、お客様の「いのち・くらし・人生」全般を支える「LONGLIFE(ロングライフ)」を追求し、新築でヘーベルハウス・ヘーベルメゾンをお建ていただくお客様はもちろん、ストックヘーベルハウス・ヘーベルメゾンにお住まいになるお客様も含め、すべてのお客様に、安心で快適な生活を共有していただけるよう努めてまいります。

- 1998年 ロングライフ宣言
- 50年点検システムの導入
- 1999年 メンテナンスプログラム導入
- 2003年 60年点検システムの導入



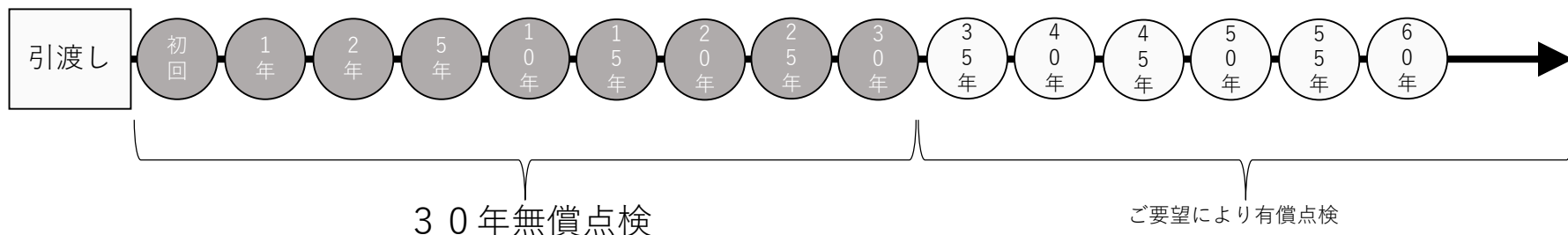
2019年  
60年点検の無償化



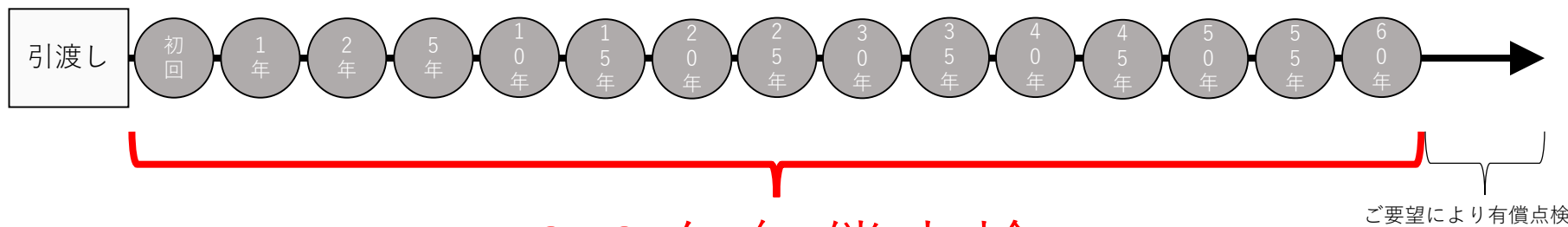
# 60年点検無償化

## アフターサービスの拡充 + 顧客接点強化

変更前



変更後



35年目以降の点検項目

- ・基礎コンクリート、外壁塗装、シーリング、屋根やベランダの防水性の点検
- ・ご要望により建具、機能部品等の機能性の確認
- ・暮らしのコンサル（オーナー様の高齢化に対し、改装、住替、建替、生活サービスの提案）

# 自助力・共助力の強化

コミュニティ賃貸住宅での防災セミナー  
災害が発生したら自分たちで何が出来るか？  
住民同士で何が出来るか？



## 地域防災拠点を目指した分譲マンション「アトラス品川中延」

木造住宅密集地域を共同化し、マンション建替。街の不燃化へ。  
集会所への帰宅困難者受け入れ想定、定期的防災イベント

■防災井戸



■集会所



■防災セミナー



HEBEL HAUS

# ヘーベルガーデン新富士「あしたの杜」

99区画の分譲地

シミュレーションに基づく 風と緑の設計  
防災・減災、生物多様性緑化



環境に配慮した  
街並み提案

防災集会所

防災用品説明



かまど  
ベンチ

HEBEL HAUS





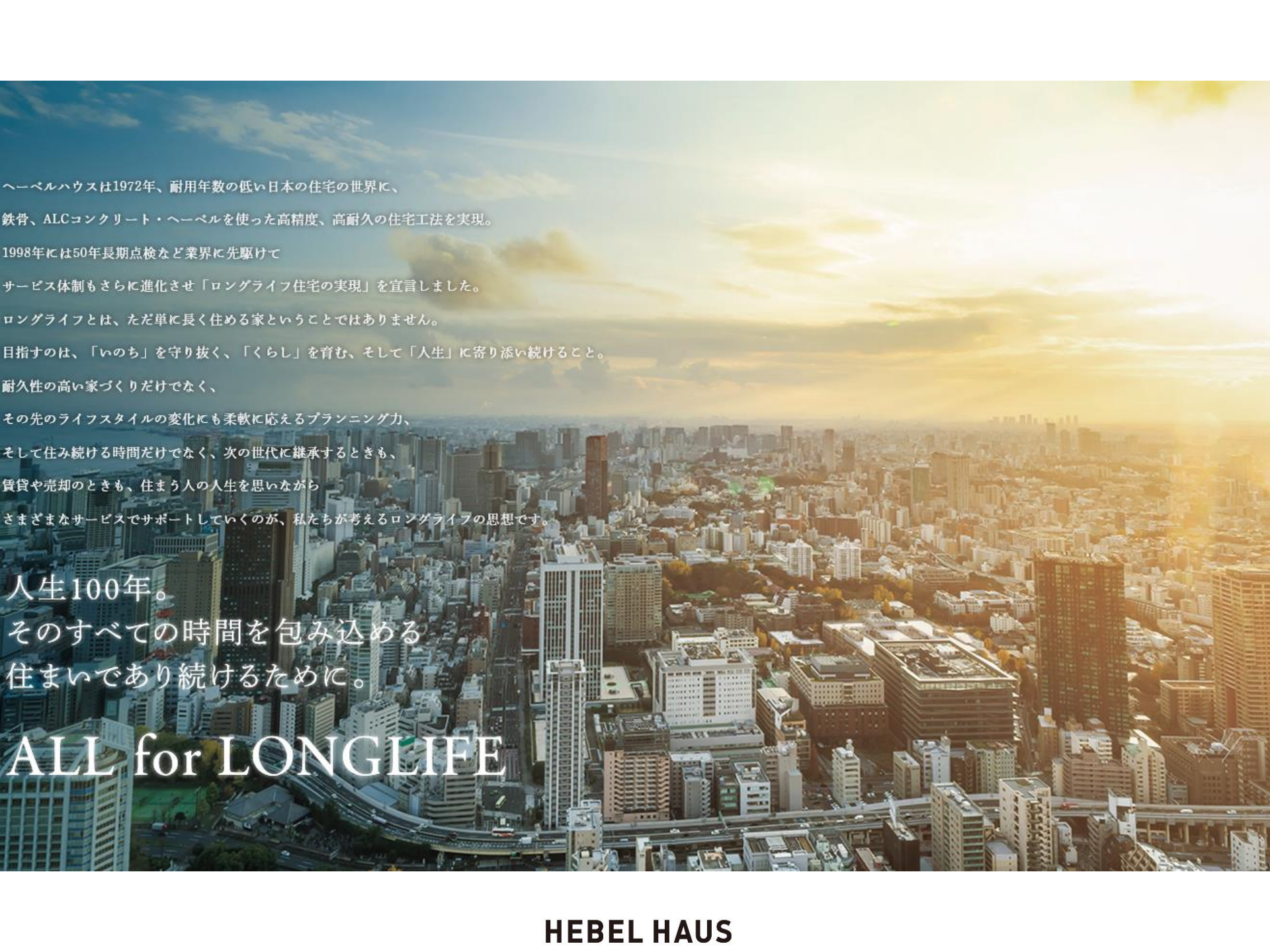
# 「あさひ・いのちの森」

自社敷地内の環境再生ゾーン

2019年『SEGESそだてる緑』 Excellent Stage3認定を取得







ヘーベルハウスは1972年、耐用年数の低い日本の住宅の世界に、  
鉄骨、ALCコンクリート・ヘーベルを使った高精度、高耐久の住宅工法を実現。

1998年には50年長期点検など業界に先駆けて

サービス体制もさらに進化させ「ロングライフ住宅の実現」を宣言しました。

ロングライフとは、ただ単に長く住める家ということではありません。

目指すのは、「いのち」を守り抜く、「くらし」を育む、そして「人生」に寄り添い続けること。

耐久性の高い家づくりだけでなく、

その先のライフスタイルの変化にも柔軟に応えるプランニング力、

そして住み続ける時間だけでなく、次の世代に継承するときも、

賃貸や売却のときも、住まう人の人生を思いながら

さまざまなサービスでサポートしていくのが、私たちが考えるロングライフの思想です。

人生100年。

そのすべての時間を包み込める

住まいであり続けるために。

ALL for LONGLIFE

HEBEL HAUS